

平成26年度北陸地区国立大学学術研究連携支援報告書

研究グループ名	北陸創作教育実践研究会 (支援期間：平成26年度)		
大学名	所属	氏名	
福井大学	教育地域科学部 芸術保健体育教育講座	○星谷丈生	
金沢大学	人間社会研究域学校教育系 音楽教育専修	○浅井暁子	
※ 各大学の研究グループ責任者の氏名には○印。			
その他の機関 の構成員	機 関 名	所 属	職 名
	Duo Rosco		ヴァイオリ ニスト、 ピアニスト
			氏 名
			甲斐史子 (Vn.) 大須賀かおり (Pf.)
成果概要	<p>北陸創作教育実践研究会 (H26-) の活動</p> <p>1. 目的 音楽教育の主要分野の1つである「創作」を学生自らが実践する機会を創出し、そこから「創作教育」の在り方を研究する</p> <p>2. 達成目標</p> <p>① プロの演奏家との協働により、実践的な楽器法学習と器楽曲の作曲に取り組む。</p> <p>② 学生の作曲指導を通して、学生の既成楽曲に対する理解度を把握し、理論学習の課題を発見する。</p> <p>③ 作曲した楽曲を公に発表し、学生自身の意欲を高め、自ら「創作」に対する課題を発見させ、その後の自主学習に結びつける。</p> <p>④ 創作実践力を身につけた教員を地域に輩出し、教育現場で敬遠される「創作」が、児童/生徒の創造力開発に及ぼす効果を実証していく。</p> <p>3. 今年度の取り組み</p> <p>① ヴァイオリン講習会：11月8日(土) 福井大学 講師、研究者3名による楽器についてのレクチャーの後、参加者は自作品の断片を試演頂き、生きた楽器法を学んだ。</p> <p>② 二重奏作品試演会：3月19日(木) 湯涌創作の森 講師2名に両大学の学生作品を試演頂き、研究者2名および、音楽学者の澁谷政子氏(福井大学教授)による講評会を行った。</p> <p>③ 金沢ナイトミュージアム2015：3月20日(金) 金沢文芸館 両研究者の作品および、前日の試演会にて発表された作品の中から優秀作品に選出された作品を演奏頂いた。この模様は、主催者である公益財団法人金沢芸術創造財団の開設するWebサイト、新聞でも取り上げられ、研究成果を地域のみならず、全国の音楽関係者にもアピールすることができた。</p> <p>4. 今後の活動</p> <p>① これまで通り、音楽文化の中核地である東京から距離を置く北陸地区において、より実践的で啓発的な講座開講を継続していくこと。</p> <p>② 研究者間レベルにおいて、継続されている各種研究講座や人材の共有を、オフィシャルな形で実施するための費用獲得について検討していくこと。</p> <p>③ 活動成果の積み重ねと発信により、創作実践教育の重要性を音楽教育分野にアピールしていくこと。</p> <p>④ 地域の文化行事や活動との協働も検討し、より良質な音楽活動の交流が北陸地域で実施できる可能性を探っていくこと。</p>		
獲得した外部 資金	なし		